

「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 活動報告書」

「C-Lab A1 報告会」

報告者 林 剛人(工学研究科 M1)

1. カテゴリー

学生自主活動

2. 活動日時、場所

2013年7月5日(金) 18:30-20:00

場所:リーディング教室

3. 企画者(複数可、代表者には◎を記載)

報告会の開催の企画:◎昆周作(理学研究科M2)、松本恵子(理学研究科M2)、吉田惇(工学研究科M2)

報告会の内容の企画:磯崎匡(文学研究科M2)、河村憲一(工学研究科M1)、郑翊喆(工学研究科M1)、

◎林剛人(工学研究科M1)、藤田遼(理学研究科M1)、山田修司(文学研究科M1)

4. 参加者など

院生(報告者):磯崎匡、河村憲一、郑翊喆、林剛人、藤田遼、山田修司

院生:昆周作(司会)、吉田惇(タイムキーパー)、小林龍一(工学研究科M2)、佐藤遼次(工学研究科M1)、松川嘉也(工学研究科M2)、田澤賢(理学研究科M1)

教員:佐藤嘉倫(文学研究科教授)、松崎瑠美(文学研究科助教)、湯上浩雄(工学研究科教授)、升谷五郎(工学研究科教授)、久利美和(災害科学国際研究所講師)、黒田剛史(理学研究科助教)、杉安和也(災害科学国際研究所助教)

5. 活動目的

C-lab研修A1としてスタンフォード大学で行った研究交流において、先方の研究内容や、各自が感じたことなどを他の学生や先生方と共有することを目的とした。リーディング院生には理系の学生が多いため、世界最先端の社会学に触れる機会が少ないこと、そして異分野融合という観点から見て、情報を共有することは貴重であると考えた。また、一部を英語のみで進行し、英語を使う練習をする場とした。

6. 活動概要

初めに松崎先生より、C-lab研修A1の概要等の説明がなされた。その後、参加した各学生がスタンフォード大学で発表したプレゼン内容の要約を紹介し、受けた質問やコメントも紹介した。その発表について、他の学生や先生方を交えて議論し、理解を深めた。この部分は英語で行った。次に、スタンフォード大学側の発表を河村と林がいくつか紹介した。最後に、各自が感じたことをそれぞれ発表した。その後も、軽食を交え、写真等の現地資料を見ながら、発表以外の交流活動などについて話し、内容を共有した。

7. 特記事項・添付資料など

なし